

2016 年度湘南藤沢学会研究助成基金成果報告書

徳島県神山町の風景調査～神山の風景図鑑づくり～（石川初研究室）

総合政策学部 3 年 白石 国雄

1. 活動概要

日程:2016 年 9 月 5 日(月)～10 日(土)

場所:徳島県名西郡神山町

参加者:先生 1 名 + 学生 5 名

2. 活動目的

徳島県神山町は ICT インフラが山間地域にも全域で整備されており、IT ベンチャー企業が相次いでサテライトオフィスを設けている場所である。そのため、神山町は全国的には人口が減少しつつある中山間地域であるにも関わらず、人口減少が緩やかになっている傾向にあり、町外ないしは徳島県外から移住してくる人も目立っている。それらの移住してくる人たちに向けて、古くから存在する古民家を有効活用していこうという動きがある。

そこで本活動では、普段私たちが学んでいる地上学の実践をこの徳島県神山町で行い、景観基準の居住地選択や地元の魅力再発見などの提案を行い、町民の皆さんに還元することを目的とする。

ここで言う地上学とは、抽象的な概念や空間ではなく具体的な場所のデザイン、風景のデザインを行うことを指す。今回の徳島県神山町における調査では、地元の新しい物の見方や、風景の新しい美の発見を試みていく。

3. 活動内容

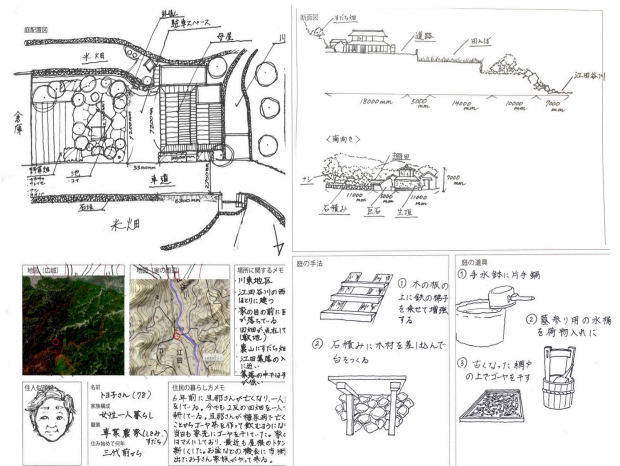
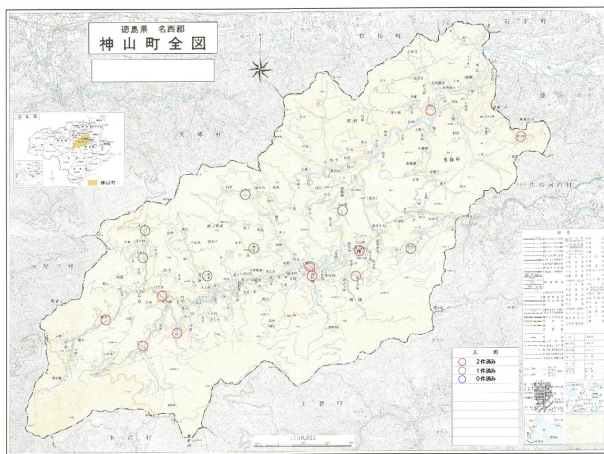
- ・風景調査(町内の集落を回り、集落ごとの風景の特徴についての分析)
- ・集落ごとの民家の庭の調査(庭の図面の記録や生活についてのヒアリング)
- ・町内施設見学
- ・高校生との町内ワークショップ
- ・町民への調査発表

4. 活動成果

今回の活動では、前回神山町を訪れた時の経験を踏まえた上で、神山町に対して我々の研究室から具体的にどのような成果品を還元できるかということを事前に議論した結果、神山町の風景を図鑑としてまとめたものと、神山町の歴史を絵本として作成する、という二つの目的を大きな柱として、調査を行ってきた。

成果としては、町内の17集落27件の民家を訪問し、庭の図面や特徴を記録した。以下の画像が、今回の調査で訪れた集落の場所と、民家の庭の図面記録の一例である。

また、この図面記録の際に住民の方々から地元の生活の様子や、神山町の変化を詳細にヒアリング調査できたことも大きな収穫であった。



5. 今後の展望

今回収集できた資料をもとに図面の清書や、絵本の作成に取り掛かり、神山町に還元する成果品の完成を目指していく。直近の予定として、今回夏に行った調査の成果発表を ORF に展示発表をしていく。また、12月には神山町に向けての中間発表をする予定である。その際、神山町で調査合宿を行っていた明治大学青井哲人ゼミと合同での調査発表も検討している。

6. 謝辞

本活動の実施に際し、資金面でご支援をいただいた湘南藤沢学会様に厚く御礼申し上げます。